



平成 18 年 5 月 18 日

各 位

会社名 川崎近海汽船株式会社  
代表者名 代表取締役社長 荒木武文  
(コード番号 9179 東証第2部)  
問合せ先 経営管理部長 友井彰彦  
(TEL:03-3592-5816)

2006 年度中期経営計画 (2007 年 3 月期～2009 年 3 月期) の策定について

当社は、昨年 5 月に 2006 年 3 月期～2008 年 3 月期の新中期経営計画を策定しましたが、燃料油価格の高騰にも拘らず近海不定期船部門の市況好調により、2006 年 3 月期においては売上高、利益ともに計画を上回りました。

今般新たに 2006 年度中期経営計画を策定いたしました。2006・2007 年度につきましては、昨年策定の計画を着実に達成する見込みです。

その概要を下記のとおりお知らせします。(数値は全て連結ベース)

#### I. 利益計画

- (1) 売上高 370 億円超を達成し業容の拡大を目指します。
- (2) 経常利益は概ね 30 億円台を継続して確保します。

#### 部門別課題

##### ① 近海部門

近海不定期部門の市況は、調整局面から 2007 年度には回復に向かうものと想定しており、加えて計画期間中に竣工する新造船 2 隻の投入効果もあり、業績回復を見込んでおります。また、定期船部門においても鋼材・木材製品輸送用に新造 10 型貨物船 3 隻を継続投入し輸送力増強に努める所存です。

##### ② 内航部門

内航不定期船部門では 2007 年度及び 2008 年度に新造石灰石専用船及び石炭専用船を順次投入し、安定収益に努めます。内航定期船部門では釧路航路に新造 RORO 船を投入し、輸送能力を増強します。また、2006 年夏に北関東と北九州をダイレクトに結ぶ新 RORO 船航路を開設し、業容拡大を図ります。

##### ③ フェリー部門

燃料油価格高騰による影響が大きい東京／苫小牧航路の貨物フェリーでは、安定した航路運営を維持するため更なるコスト削減等を講じますが燃料油価格変動調整金の取得に加えて適正運賃収受に努めてまいります。

2006 年度中期経営計画

	2006年3月期 実績	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期
売上高	34,091	35,000	37,000	37,500
近海部門	15,692	14,700	15,500	15,500
内航部門	12,324	13,700	14,900	15,400
フェリー部門	5,979	6,500	6,500	6,500
その他	96	100	100	100
営業利益	3,978	2,900	3,200	3,500
経常利益	3,849	2,800	3,100	3,400
当期純利益	1,975	1,500	1,800	2,000

為替レート	¥112	¥110	¥110	¥110
燃料油価格	¥43,375	¥47,000	¥47,000	¥47,000

1株当たり配当金	¥10.00	¥10.00	¥10.00	¥10.00
1株当たり利益	¥67	¥51	¥62	¥68
予想配当性向	15%	20%	16%	15%

中期経営計画の推移

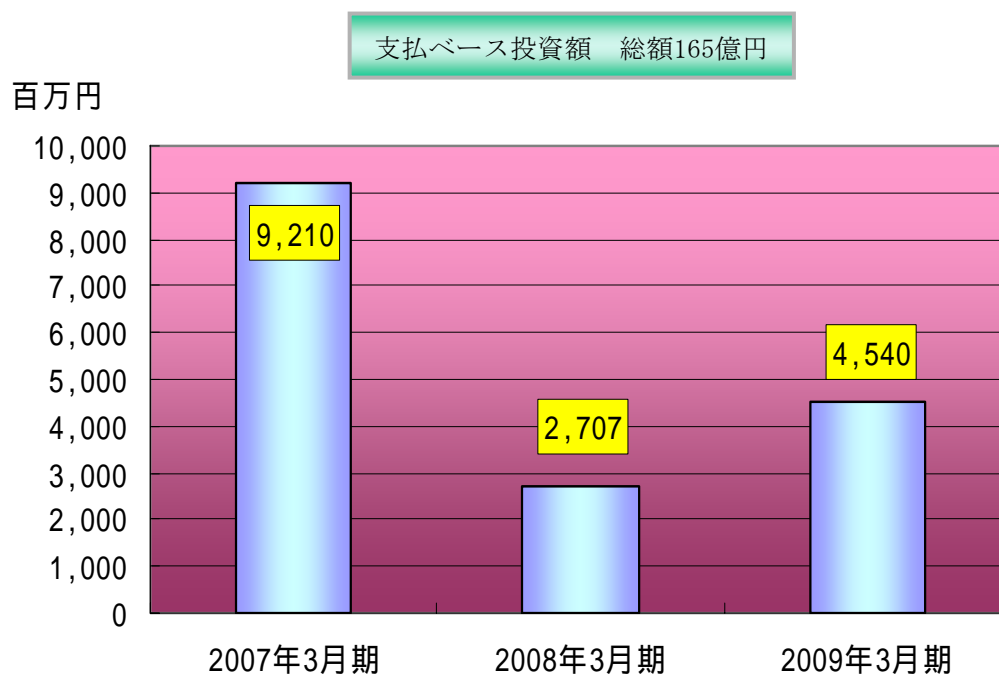
2005年5月策定の新中期経営計画			
	2006年3月期	2007年3月期	2008年3月期
売上高	31,000	32,000	33,000
営業利益	3,600	3,200	3,200
経常利益	3,400	3,000	3,000
当期純利益	1,950	1,750	1,750



	2006年3月期 実績	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期
売上高	34,091	35,000	37,000	37,500
営業利益	3,978	2,900	3,200	3,500
経常利益	3,849	2,800	3,100	3,400
当期純利益	1,975	1,500	1,800	2,000

## II. 投資計画および財務指標

(1) 近海部門及び内航部門における新造船建造等に対する投資規模は三年間で総額約 165 億円を予定しています。

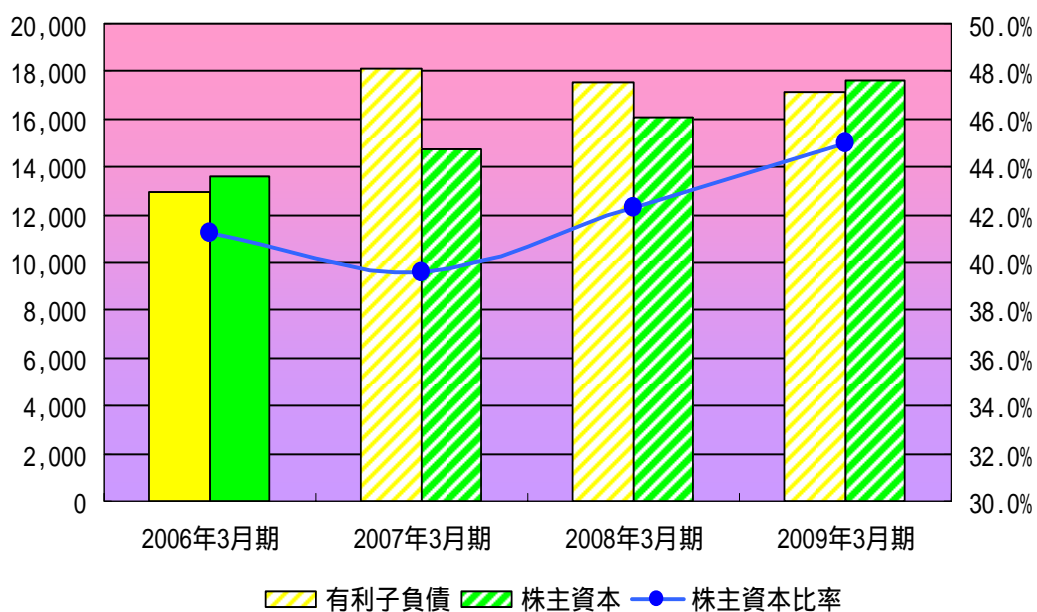


### 期間中の竣工船

<b>近海部門</b> ：	不定期船バルカー	24,000型1隻 (社船)
	同上	16,000型1隻 (社船)
	定期船	10,000型3隻 (内傭船2隻)
<b>内航部門</b> ：	不定期船専用船	6,000型1隻 (社船)
	SUL船	6,600型2隻 (社船)
	RORO船	14,000型2隻 (社船)

(2) 一方バランスシートの健全性を維持するため、株主資本比率は40%以上を、またDERは現行水準の維持を図ります。

	2006年3月期	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期
株主資本	13,614	14,759	16,094	17,629
有利子負債	12,944	18,141	17,554	17,100
株主資本比率	41.3%	39.6%	42.3%	45.0%
ROE	15.4%	10.6%	11.7%	11.9%
DER(倍)	0.95	1.23	1.09	0.97



### Ⅲ. 配当

安定配当の継続を第一目標とし、2007年3月期の年間配当金は1株当たり10円を継続する予定にしております。2008年及び2009年3月期につきましても所期の目標を達成できれば年間配当金は1株当たり10円を継続する予定です。

以上